

- 問1 2019年に「百舌鳥・古市古墳群」の一部として世界文化遺産に登録された大仙陵古墳（仁徳天皇陵古墳）について、その形状と発見された遺物の組み合わせとして適切なものはどれですか。（2020年 東京都公立入試 類似）
- | | | | |
|-------------------------------|--------------------------|---------------------------|----------------------------|
| 1. 形状：前方後円墳、遺物：大陸から伝わった陶磁器の破片 | 2. 形状：円墳、遺物：青銅で作られた大型の銅鐸 | 3. 形状：方墳、遺物：死者の身分を示すための仏像 | 4. 形状：前方後円墳、遺物：人や動物の形をした埴輪 |
|-------------------------------|--------------------------|---------------------------|----------------------------|
- 問2 航空写真などの上空からの視点で見ると、前方部が方形（四角形）、後方部が円形をしており、全体として巨大な鍵穴のような形状をしている日本独自の古墳の名称として適切なものはどれか。（2020年 佐賀県公立入試 類似）
- | | | | |
|----------|-------|-------|--------|
| 1. 前方後円墳 | 2. 円墳 | 3. 方墳 | 4. 八角墳 |
|----------|-------|-------|--------|
- 問3 6世紀の古墳時代に、朝鮮半島の百済から日本へ仏教が公式に伝えられた際、経典や仏像とともに日本へ同時にもたらされたものとして最も適切なものはどれですか。（2024年 群馬県公立入試 類似）
- | | | | |
|-----------------------|----------------------|----------------------|-----------------------|
| 1. 稲作の技術とそれに伴う青銅器の製造法 | 2. 銅鐸を用いた祭祀の習慣や青銅器文化 | 3. 寺院建築や彫刻などの高度な技術文化 | 4. 磨製石器の製作技術と大規模な環濠集落 |
|-----------------------|----------------------|----------------------|-----------------------|
- 問4 5世紀、ヤマト王権の首長たちは「倭の五王」として中国の南朝へ使者を派遣し、朝貢を行いました。この外交活動の主な目的を説明した文として、最も適切なものはどれですか。（2024年 山口県公立入試 類似）
- | | | | |
|---|--|---|--|
| 1. 邪馬台国の卑弥呼が魏から受けた称号と同様の権威を背景に、九州地方の豪族を支配するため | 2. 仏教の公伝をきっかけとして、大陸の進んだ建築技術や工芸品を組織的に輸入するため | 3. 朝鮮半島での軍事的な優位性や鉄資源の確保に加え、国内での政治的地位を認めてもらうため | 4. 隋に対して対等な立場での外交を求め、中国の進んだ律令制度をいち早く導入するため |
|---|--|---|--|
- 問5 古墳時代、各地の有力者が巨大な墓を造りました。その中でも、上から見ると鍵穴のような独特の形（一方が四角形で、もう一方が円形）をした、日本独自の形式の古墳を何と呼びますか。（2021年 鹿児島県公立入試 類似）
- | | | | |
|-------|---------|-------|----------|
| 1. 方墳 | 2. 装飾古墳 | 3. 円墳 | 4. 前方後円墳 |
|-------|---------|-------|----------|
- 問6 日本の古墳時代にあたる4世紀から6世紀ごろ、朝鮮半島では3つの国家が互いに勢力を競い合っていました。この3つの国家の組み合わせとして正しいものを次から選びなさい。（2024年 滋賀県公立入試 類似）
- | | | | |
|-------------|----------|----------|--------------|
| 1. 渤海・高麗・新羅 | 2. 魏・呉・蜀 | 3. 隋・唐・宋 | 4. 高句麗・百済・新羅 |
|-------------|----------|----------|--------------|
- 問7 大和政権の時代、大陸から移住してきた渡来人がもたらした技術や文化について述べたものとして、最も適切なものはどれか。（2023年 鹿児島県公立入試 類似）
- | | | | |
|------------------------------|-------------------------------|---------------------------------------|-----------------------------|
| 1. 遣隋使によって直接もたらされた、隋の進んだ政治制度 | 2. 九州沿岸を守るために配置された防人による防衛の仕組み | 3. 金属を精錬する技術や、高温で焼いて作る硬い土器である須恵器の製作技術 | 4. 唐の法律にならって作られた大宝律令などの統治制度 |
|------------------------------|-------------------------------|---------------------------------------|-----------------------------|
- 問8 5世紀ごろ、大和政権（ヤマト王権）の支配が関東地方や九州地方まで及んでいたことを示す歴史資料があります。埼玉県の稲荷山古墳や熊本県の江田船山古墳から出土した鉄剣・鉄刀に、その名が刻まれていた人物として正しいものを選びなさい。（2019年 愛媛県公立入試 類似）
- | | | | |
|----------|--------|---------|------------|
| 1. 中大兄皇子 | 2. 卑弥呼 | 3. 聖徳太子 | 4. ワカタケル大王 |
|----------|--------|---------|------------|
- 問9 5世紀頃、大陸から日本へ移住した人々によって伝えられた技術のうち、それまでの赤褐色の土器とは異なり、穴窯を用いて高温で焼かれた硬い灰色の土器を何と呼びますか。（2021年 島根県公立入試 類似）
- | | | | |
|--------|---------|--------|---------|
| 1. 須恵器 | 2. 縄文土器 | 3. 土師器 | 4. 弥生土器 |
|--------|---------|--------|---------|
- 問10 古墳時代に築かれた、円形と方形を組み合わせた鍵穴のような形状を持つ巨大な墓について、その名称と当時の状況を正しく述べたものはどれですか。（2026年 沖縄県公立入試 類似）
- | | | | |
|--|---|---|--|
| 1. 名称は方墳であり、ヤマト王権が全国の土地を直接支配するために、各地の役所の目印として設置した。 | 2. 名称は装飾古墳であり、ヤマト王権から独立した九州地方の豪族のみが、独自の文化を示すために築いた。 | 3. 名称は円墳であり、大和地方から移住した渡来人たちが、故郷の風景を再現するために全国に広めた。 | 4. 名称は前方後円墳であり、ヤマト王権の勢力が及んだ東北地方から九州地方にかけての広い範囲で見られる。 |
|--|---|---|--|
- 問11 5世紀頃、大和政権は近畿地方から遠く離れた地域まで勢力を拡大しました。各地の有力者の墓（古墳）から、当時の王の名称が刻まれた鉄剣や鉄刀が発見されている事実は、当時の政治体制についてどのようなことを示していますか。その説明として最も適切なものを選びなさい。（2017年 愛知県公立入試 類似）
- | | | | |
|---------------------------------------|--------------------------------|-------------------------------------|-------------------------------------|
| 1. 大和政権の権力が、九州から関東に及ぶ広い地域の有力者に及んでいたこと | 2. 征夷大將軍が派遣され、東北地方まで完全に平定されたこと | 3. 仏教の伝来によって、全国の有力者が同じ信仰を持つようになったこと | 4. 地方の有力者が、大和政権を介さず独自に大陸と外交を行っていたこと |
|---------------------------------------|--------------------------------|-------------------------------------|-------------------------------------|
- 問12 古墳時代に朝鮮半島などから日本列島へ移り住み、新しい技術や文化を伝えた人々を何と呼びますか。（2025年 岩手県公立入試 類似）
- | | | | |
|--------|--------|--------|--------|
| 1. 帰化僧 | 2. 渡来人 | 3. 渡来僧 | 4. 遣隋使 |
|--------|--------|--------|--------|
- 問13 古墳時代に、前方後円墳という特定の形式が日本各地の有力者の墓として採用されたことは、当時の政治状況においてどのようなことを意味していますか。（2018年 長崎県公立入試 類似）
- | | | | |
|-------------------------------------|------------------------------------|-------------------------------------|--------------------------------------|
| 1. 大陸から伝来した仏教に基づき、全国一斉に寺院の建立が始まったこと | 2. 近畿地方のヤマト政権（大和朝廷）の影響力が各地に及んでいたこと | 3. 狩猟・採集中心の生活から、稲作を中心とする社会へ移行し始めたこと | 4. 各地の豪族が独自の宗教観に基づき、異なる形式の墓を競って造ったこと |
|-------------------------------------|------------------------------------|-------------------------------------|--------------------------------------|
- 問14 日本最大級の規模を誇る前方後円墳である大仙古墳（大山古墳）が位置する場所として正しいものはどれですか。日本全国をいくつかの地域に分けた際、現在の大阪府堺市が含まれる地方の名称を選択しなさい。（2024年 茨城県公立入試 類似）
- | | | | |
|---------|---------|---------|---------|
| 1. 関東地方 | 2. 近畿地方 | 3. 九州地方 | 4. 東北地方 |
|---------|---------|---------|---------|

答え合わせ・解説

問1	答え 4 形状：前方後円墳、遺物：人や動物の形をした埴輪	大仙陵古墳は、円形と方形を組み合わせた日本最大の前方後円墳です。この古墳からは、円筒埴輪だけでなく、当時の衣服や武具の様子を知る手がかりとなる家・人間・動物などをかたどった「形象埴輪」が発見されています。銅鐸は主に弥生時代の祭祀に使われたものであり、仏像は後の飛鳥時代以降に本格的に伝来したものであるため、古墳時代の特徴としては埴輪が最も適切です。
問2	答え 1 前方後円墳	3世紀後半から6世紀にかけて、ヤマト政権の勢力下にあった地域で築かれた日本独自の形式です。大阪府の大仙古墳（伝仁徳天皇陵）に代表されるように、大規模なものは当時の有力者の権力を象徴しています。
問3	答え 3 寺院建築や彫刻などの高度な技術	百済から仏教が伝来した際、単に宗教的な教え（経典）や崇拜対象（仏像）が届いただけでなく、それらを安置するための寺院を建てる建築技術や、仏像を造るための彫刻技術といった、当時の大陸や朝鮮半島の高度な技術がセットで導入されました。これにより、その後の日本の文化や技術は大きく発展することになりました。
問4	答え 3 朝鮮半島での軍事的な優位性や鉄資源の確保に加え、国内での政治的地位を認めてもらうため	5世紀のヤマト王権にとって、武具や農具の材料となる鉄資源の確保は極めて重要でした。そのため、鉄の供給源である朝鮮半島南部での軍事的な影響力を強化することや、中国の皇帝から称号を授かることで、国内の有力な豪族たちに対して自らの王権の正当性を示すことが、この外交活動の大きな目的となっていました。
問5	答え 4 前方後円墳	3世紀後半から6世紀頃にかけて造られた、日本を代表する古墳の形式です。近畿地方で発生し、一方が方形（四角）、もう一方が円形を呈していることからその名がつけました。当時の首長の権力の大きさを示す象徴的な建造物です。
問6	答え 4 高句麗・百済・新羅	朝鮮半島では、北部の高句麗、西部の百済、南東部の新羅の3校が対立し、抗争を繰り返していました。この情勢は当時の日本（倭）の外交や技術導入にも大きな影響を与え、日本は主に百済や加羅（加耶）の地域と結びついて行動していました。
問7	答え 3 金属を精錬する技術や、高温で焼いて作る硬い土器である須恵器の製作技術	渡来人は専門的な技術を持った集団として、大和政権下で重用されました。彼らが伝えた須恵器は、それまでの弥生土器や古墳時代の土師器（はじき）とは異なり、穴窯を用いて1000度以上の高温で焼成された青灰色の硬い土器です。また、鉄製品の加工や農具の改善なども行われ、日本の農業や生活様式に劇的な変化を与えました。
問8	答え 4 ワカタケル大王	埼玉県の稲荷山古墳や熊本県の江田船山古墳から出土した文字が刻まれた鉄剣・鉄刀には、大和政権の「ワカタケル大王」という名が記されていました。同一人物の名が刻まれた遺物が関東と九州の双方で見つかったことは、5世紀後半には大和政権の支配力が日本列島の広範囲に及んでいたことを証明する重要な根拠となっています。
問9	答え 1 須恵器	渡来人は日常生活に密着した技術も多く伝播させました。それまで日本で作られていた土器よりも高い温度で焼成する技術や、ろくろを使用する技法が伝わったことで、より実用的で耐久性の高い器が生産されるようになりました。
問10	答え 4 名称は前方後円墳であり、ヤマト王権の勢力が及んだ東北地方から九州地方にかけての広い範囲で見られる。	前方後円墳は、日本独自の古墳形式であり、その分布は北は東北地方から南は九州地方にまで及んでいます。これは、各地の豪族がヤマト王権を中心とする政治秩序に参加していたことを意味します。装飾古墳は内部に彩色や彫刻があるものを指し、円墳や方墳はより一般的な形状ですが、前方後円墳ほどの政治的象徴性は持ちません。また、古墳はあくまで豪族の墓であり、役所の目印ではありません。
問11	答え 1 大和政権の権力が、九州から関東に及ぶ広い地域の有力者に及んでいたこと	大和政権は、軍勢力や外交力を背景に地方の首長たちと主従関係を結び、自身の統治体制に組み込んでいきました。有力者の墓から出土した銘文入りの鉄剣などは、地方首長が大和政権に従う代わりに、その土地の支配権を保証されたという政治的な結びつきを証明するものです。これにより、当時の日本列島において広域的な政治連合が形成されていたことがわかります。
問12	答え 2 渡来人	古墳時代に朝鮮半島などから日本列島へ移り住み、様々な技術や文化を伝えた人々は渡来人と呼ばれます。
問13	答え 2 近畿地方のヤマト政権（大和朝廷）の影響力が各地に及んでいたこと	鍵穴のような特有の形状が標準化され、各地で模倣されたことは、その地域の有力者が近畿のヤマト政権と政治的な同盟関係や主従関係を結んでいたことを示しています。これにより、ヤマト政権を中心とした政治体制が広まっていたことがわかります。
問14	答え 2 近畿地方	5世紀頃、現在の大阪府や奈良県などを含む近畿地方を中心に、巨大な前方後円墳が数多く造られました。大仙古墳は、当時の大和政権（ヤマト王権）の首長である大王の権力を象徴するものであり、現在の大阪府堺市に位置しています。